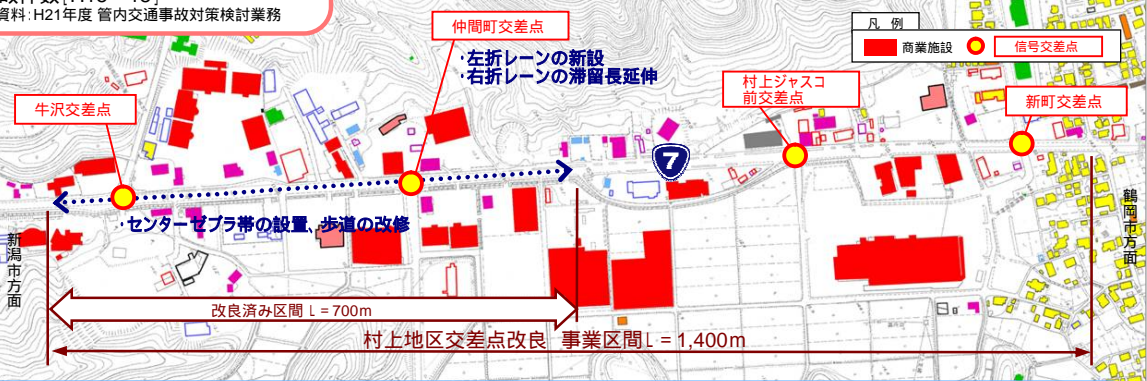
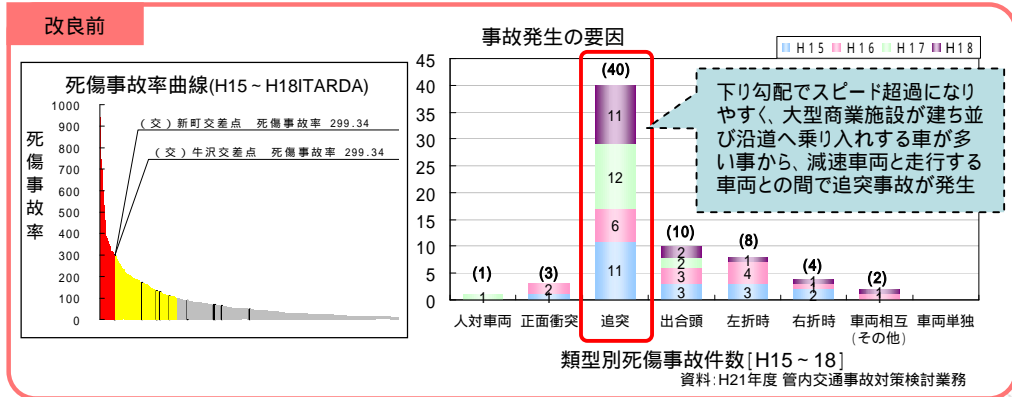


沿道出入りの危険性や混雑が解消され、商業利用促進に期待

沿道への出入りに起因する事故対策としてセンターゼブラ帯を設置、歩道・路肩の改善。主要渋滞ポイントの仲間町交差点では、左折レーン新設および右折レーンの滞留長延伸。改良後は対象箇所における危険意識が低下し、沿道出入り時の事故も減少傾向に。事故危険性の低下や混雑緩和が、沿道商業の利用促進につながるものと期待。



沿道商業施設従業者の声

『右折進入しやすくなり大変助かっています。これまで右折しづらくて、そのまま通過したお客様もいたと思う。また以前は仕事中に(国道7号から)車のクラクションが聞こえましたが、改良後は聞こえる回数が殆ど無くなりました。』
【菓子販売店: 店長】 資料: 現地ヒアリング(H22.5調査)

